

水田のメタンガス削減に 取り組み、J-クレジット制度に 参画してみませんか？

水稻栽培において、中干し期間の7日間(※)以上
延長することでカーボンクレジットを創出することができます。

(※)直近2年以上の実施日数の平均より7日間以上延長する

▲ J-クレジット制度とは

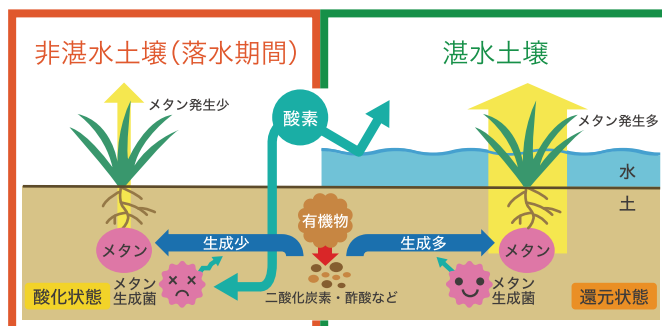
J-クレジット制度とは、省エネの導入や再エネの利用、農林業による取り組み等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度で、経済産業省、環境省、農林水産省が運営している国が認証する制度です。

▲ 稲作コンソーシアムとは

J-クレジットの登録・申請には数百万円の費用と手続き書類策の手間がかかるため、参加者を募りまとめて申請、登録する「稲作コンソーシアム」が2023年4月に発足されました。

▲ メタンガスの発生要因

湛水土壤の場合、メタン生成菌からメタンガスが発生するため、中干し期間を設けることでメタンガスの発生を抑制できます。



図の参照:つくばリサーチギャラリー

コンソーシアム参加メリット



登録費用・クレジット申請
登録手続きが不要

水田と管理者の基礎情報をご提供いただければ、
コンソーシアムがクレジット申請登録手続きを
代理で実施。**コンソーシアム登録費用も無料**



クレジット創出による
副収入取得

クレジットの売買益を**副収入**として**獲得**する
ことができる。



クレジット創出における
質の向上と工数削減

農業データのDX化や衛星データを活用し、**モニタリングの簡易化**を目指す。



環境配慮米として
ブランディング化

環境に配慮した栽培方法を強みとした**産地のPR**につながります。

農家様ご提出 必要情報

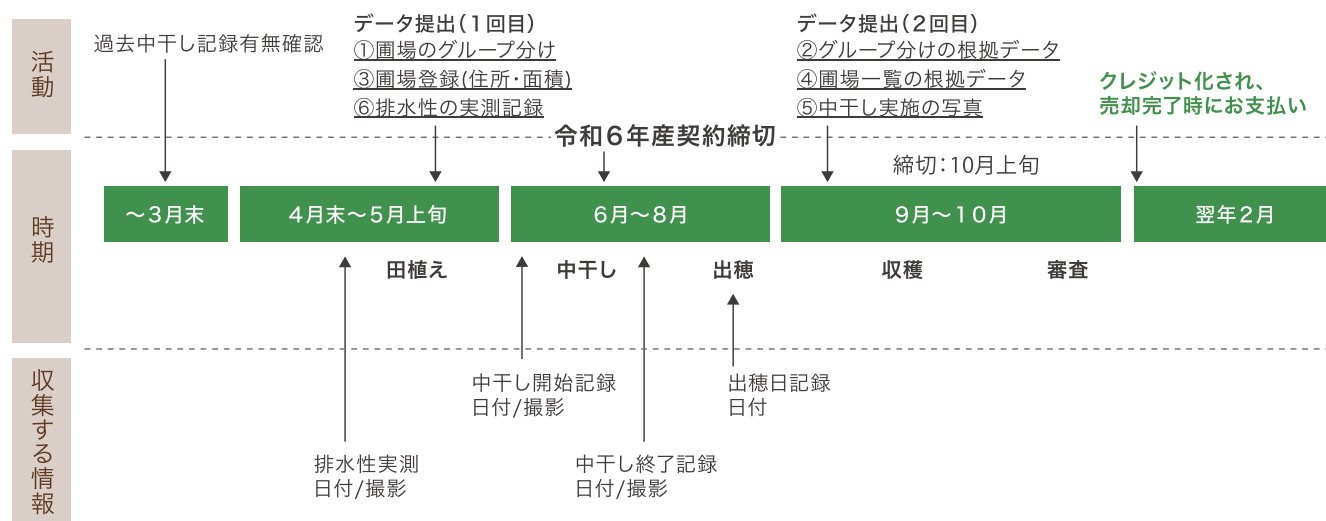
- 1 圃場のグループ分けデータ**
過去中干し期間・稲わらすき込み割合・堆肥施用量・今年度中干し実施・出穂日
- 2 グループ分けの根拠となるデータ**
作業日誌・営農支援サービス・生産管理記録等
- 3 各圃場の住所・面積・グループ分け**
- 4 圃場一覧の根拠となるデータ**
営農計画書・水稻共催細目書等
- 5 今年度の中干し実施写真**
取水口・排水口・全体の様子を開始時と終了時に
- 6 排水性の実測**



J-クレジットへの申請方法(水稻の中干し延長)

下記、情報の提出で申請可能です

1. 直近2年間以上の中干しの記録
2. 田植え前の日減水深測定(生産者あたり代表1圃場)
3. 中干し期間の延長時の撮影(品種ごと/栽培方法ごとに1画場)+出穂日付
4. 該当画場の営農計画書(細目書)



お申し込みの際は申込書を用意しますので営業担当までご連絡ください。Webでもお申し込みが可能です。



◀◀ Web申し込みはコチラから



inochio
PLANTCARE

イノチオプラントケア株式会社
<https://www.inochio-plantcare.co.jp/>

イノチオプラントケアは、稲作コンソーシアムに参画し環境保全型農業に取り組む生産者様への支援に取り組んでいます。